

【表 3・(3)】研究成果(2)

サブテーマ名：プロバイオティック、プレバイオティック食素材の開発及び評価 小テーマ名：腸内細菌叢の食による変化のモニタリング															
サブテーマリーダー 北大院農 教授 浅野行蔵 研究従事者 雇用技術員 南田公子															
研究の概要、新規性及び目標 研究の概要 ゲノムテクニックを用いた腸内細菌叢の全容解明 研究の独自性・新規性 DGGE法(変性溶媒電気泳動法)を用いた解析 研究の目標 ヒトへのDFA 投与時の腸内細菌叢のモニタリング技術を確立した(フェーズ テーマ)															達成率95%
研究の進め方及び進捗状況 ヒトにDFA を長期間にわたって投与し、腸内細菌の菌叢変化をDGGE法で解析した。 その結果、菌叢には大きな変化がなく、DFA が安全な食素材であることを証明した。															
主な成果 具体的な成果内容： 約1年間にわたるDFA 投与の菌叢変化を追跡、一部資化菌を発見。 特許件数：0 論文数：(投稿中 3) 口頭発表件数：9															
研究成果に関する評価 1 国内外における水準との対比 DGGE法のようにゲノムテクニックを活用した解析法は最近理化学研究所を中心に開発されている。 2 実用化に向けた波及効果 新規食素材を摂取したときの腸内細菌叢の変化を調べ、ヒトの健康に及ぼす影響を解析する手法として役立つ															
残された課題と対応方針について 糞便を試料として解析するために、汎用性が高い															
	JST負担分(千円)							地域負担分(千円)							合計
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	小計	H10	H11	H12	H13	H14	H15	小計	
人件費	0	0	0	4,270	12,387	3,029	19,686	0	0	0	0	0	0	0	19,686
設備費	0	0	0	3,769	1,788	0	5,557	0	0	0	0	0	0	0	5,557
研究費	0	0	0	4,225	4,821	2,251	11,297	0	0	0	0	0	0	0	11,297
旅費	0	0		257	721	112	1,090	0	0	0	0	0	0	0	1,090
その他	0	0	0	947	1,052	315	2,314	0	0	0	0	0	0	0	2,314
小計	0	0	0	13,468	20,769	5,707	39,944	0	0	0	0	0	0	0	39,944
代表的な設備名と仕様[既存(事業開始前)の設備含む] JST負担による設備：電気泳動画像解析装置、ミュレーション検出用電気泳動システム 地域負担による設備：-															